

平成 22 年度 第 131 回 教育研究審議会議事要録

日 時 平成 22 年 12 月 14 日 (火) 13 : 30 ~ 14 : 30
場 所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 矢田学長、近藤副学長、松藤副学長、中野副学長、石神事務局長、伊藤外国語学部長、白石経済学部長、松尾文学部長、山本法学部長、伊野地域創生学群長、梶原国際環境工学部長、漆原基盤教育センター長、齋藤マネジメント研究科長、田村(慶)学術情報総合センター長、田部井学生部長、二宮教務部長、木原国際教育交流センター長、田村(大)入試広報センター長、隈本学術情報総合センター副センター長、王評価室副室長、上江洲地域貢献室副室長

配布資料

- 1-1 退職願 (法学部)
- 1-2 教員採用選考結果報告書 (マネジメント研究科)
- 2 副学長の選考について
- 3 学部長等選挙実施要領
- 4 平成 22 年度卒業延期特例措置について
- 5 韓国・国民大学校との友好校協定締結について
- 6 サバティカル取得資格者の選考結果について (報告)

第 1 号 教員の人事について

* 資料1-1のとおり、法学部からの申請に基づき、落合俊行教授の平成23年3月31日付での割愛退職について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

* 資料1-2のとおり、マネジメント研究科の経営戦略担当教員採用人事について、選考委員会から採用候補者(高橋秀直氏)の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

○ 「経営戦略」はマネジメント研究科の基幹科目であり、必修科目である。このため、選考にあたっては、アカデミックな理論を有しているかを特に重要視した。採用候補者は、理論研究と実証研究において特に秀でていた。

● 教歴から判断し、講師と認定しているが、専門職大学院の専任教員の要件は満たしているのか。

○ 問題ないと考えている。ただし、現在、専任教員が担当しているプロジェクト研究については、採用候補者が講師である期間中は担当せず、担当科目についても研究科全体でカバーしていく。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第 2 号 副学長の選考について

* 資料 2 のとおり、副学長の選考について提案。

○ 法学部の岡本博志教授、国際環境工学部の梶原昭博教授、外国語学部の木原謙一教授の 3 名を選考したい。任期は、平成 23 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの 2 年間とする。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第3号 学部長等選挙実施要領について

* 資料3のとおり、学部長等選挙の実施要領について提案。

- 投票は2名連記とあるが、1名でも有効か。
- 1名でも有効である。3名以上だと無効となる。
- 各学部長等が指名した選挙管理人については、いつまでにどこへ報告すればよいか。
- 総務課へ12月27日(月)までに報告してもらいたい。
- 選挙権、被選挙権について、海外・国内留学、出張、休職、サバティカル取得者の取扱いはどうなるのか。
- 例外規定はないため、選挙権、被選挙権を有する。投票の意向があれば、秘密保持に留意して適正に対応する。
- 次期副学長予定者に被選挙権はあるのか。
- 規程上は有することとなるが、副学長、学部長等の順で役職が決まっていく。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第4号 卒業延期特例措置について

* 資料4のとおり、卒業延期特例措置の平成22年度実施について提案。

- 第129回教育研究審議会(11月9日開催)において、平成22年度卒業延期特例措置の実施及び要綱(案)を提案した。
- これに対し、経済学部から、就職活動報告や未内定者への救済策等について意見をいただいた。
- なお、平成21年度の卒業延期者57名のうち、まだ就職が決まってない22名については、3月までねばり強く取り組んでいく。
- 平成22年度の実施内容及び要綱(案)については、同意を得たため当初案のとおり決定したい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第5号 韓国・国民大学校との友好校協定締結について

* 資料5のとおり、韓国・国民大学校との友好校協定及び語学研修に関する協定の締結について提案。

- 平成23年8月に約3週間の短期語学研修の実施を予定している。
- 8月の派遣の場合、定期試験と重複する可能性もあるため、追試に影響が出ることを考えておく必要がある。
- できる限り支障が出ないように、今後、調整を行っていきたい。
- 平成24年度の実施時期については、教務部委員会との事前調整をお願いする。
- 本学の単位に認定可能とあるが、どの授業科目で認定するのか、基盤教育センターとの調整はいつしているのか。
- 認定する授業科目については、今後調整したい。最終的には各教授会での決定となる。
- 単位認定に関しては、シラバスや履修ガイドで、あらかじめ学生に周知しておくべきではないか。
- 学生の立場を考えて、履修登録に間に合うよう調整をしたい。
- 成績優秀者に奨学補助金を助成するとあるが、本学と国民大学校のどちらの成績なのか。また、成績とは具体的にはGPAのことか。1年生を派遣する場合、8月派遣のため、成績がまだ出ていないが、どう取り扱うのか。

- 本学での GPA とするが、1 年生の取扱いについては、今後検討していく。
- 資格・人数に制限なしとあるが、朝鮮語を履修していなくても、派遣留学を希望する学生がいる可能性はあるのではないか。
- 基本的には他の語学研修と同様のため、特段問題はないと考えるが、詳細については、今後調整をしていく。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

報告

- ① サバティカルの選考結果について、資料 6 のとおり報告があった。
- ② 次回の審議会を 12 月 21 日 (火) に開催する予定である旨、報告があった。